

本庄陸男 （ほんじゆう） 小説家、教育評論家。明治二十八年二月、千白北海
 道生れ、昭和十四年七月二十一日歿（一九五一年）。筆名北田晋夫、北
 葉子、岩木喬、本庄陸男、本庄むつと、本庄陸夫、江藤二郎、江藤順
 一等。大正十四年青山師範學校卒。小學校教員と、昭和五年教員組合
 事件に連坐して失職。この間全日本無産者藝術聯盟（略稱ナツパ）に
 参加。七年日本共産黨入黨。雑誌「現實」、（こゝろ）「人民文庫」、（こゝろ）「槐（こゝろ）
 んじゆ）」同人。

著書「資本主義下の小學校」（昭和五年十月、千白自由社）、（こゝろ）「われ
 らの成果―新鋭傑作十七人集」（合著、昭和九年十月二十日、三一書
 房）、（こゝろ）「石狩川」（昭和十四年五月二日、普及版、十月二十五日大觀
 堂書店。再刊、二十年一月二十八日三一書房「日本プロレタリア長篇
 小説集」、七月二十日新潮社「新潮文庫」）、（こゝろ）「白い壁」（昭和二十
 二年五月、二十五日京都・三一書房）、（こゝろ）「本庄陸男遺稿集」（本庄陸男
 遺稿集刊行會編、昭和二十九年七月十日札幌・北書房）、（こゝろ）「白い壁」
 （昭和四十四年五月二十日麥書房「雨の白文庫・現代日本文學」等、昭和戦前篇）等。

